



さんが

第一二五号

令和 七年

西暦 二〇二五年

春 彼岸 三月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

この世には、阿弥陀さまや観音さま、お地藏さまや不動明王さまなどなど、いろいろな仏さまがおまつりされています。

そんな中、曹洞宗は、お釈迦さまをご本尊としています。東運寺も、それにならって、本堂のまん中には、お釈迦さまがいらっしゃいます。

さて、お釈迦さまは、じつは他の仏さまとは、決定的な違いがあります。いったいなにが違うのか、おわかりになりますでしょうか？

それは、お釈迦さまは、実在の人物であったということです。私たちと同じく、おなかも空くし、風邪も引きます。怪我をすれば血も出るし、年を取れば腰も曲がって歩きづらくなってしまわれました。

ですが、だからこそ、お釈迦さまはたいせつなのだと言えます。お釈迦さまも、私たちと同じ人間として、人生の大きな苦しみや悩みから、救われる方法を発見し

実行されたからです。私たちも、お釈迦さまと同じ力を持ち、人生の大きな苦しみや悩みから、救われることを証明されたのです。

四月八日は、そんなお釈迦さまのお誕生日。

東運寺でも、それに近い土曜日に、お誕生をお祝いする「花まつり」を行っています。

今年の「東運寺花まつり」は、

四月五日です。十一時から、かんたんな法要も行います。



当日は、朝から夕方まで、本堂の正面をあけて、花御堂をお飾りいたします。

春の良き日、ぜひお子さま、お孫さまとご一緒に、健やかなご成長を願いにお参りください。

お檀家さま以外でもどうぞ。甘茶も召し上がっていただけます。

春のお彼岸法要に、特別な布教師 さまがお見えになります

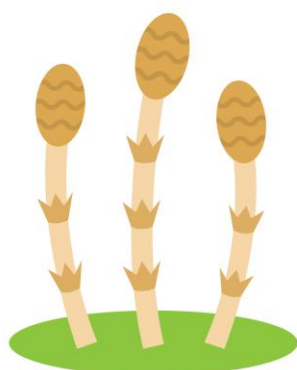
東運寺の春彼岸法要は、例年の通り、三月二十四日（月）午後一時より行います。

まず始めに、ご法話の時間がありますが、今年から四年間、曹洞宗の特配布教師さまに、お出で頂けることになりました。

特配布教師さまは、特別のお勉強をなされ、全国を飛び回ってご活躍されている方ばかりです。今年は、富山県の方丈様がお出でくださいます。

ご法話のあと、護持会会計報告をはさんで、二時すぎから法要となります。三時すぎには終わります。

特配布教師のお話を直接耳にできる、貴重な機会かと思えます。ぜひ当日お参りくださいませ。



お葬式について

— お寺からのお願い —

たいせつなご家族を失ってしまうことは、つらく悲しいものです。お葬式は、残された私たちが供養する功德によって、故人が仏さまとして行かれる道を照らすために行われます。

そんなものとき、檀信徒のみなさまにおかれましては、必ずお寺までご一報下さいませ。万が一お葬式に行けなくとも、菩提寺として、故人さまのために、ご戒名をお授けいたします。どうかご相談下さい。

お寺の前の水路沿い、河津桜がすっかり有名になりました。毎年、大勢の方が訪れる名所となっています。今年は寒さのせい、開花が遅れ気味のようです。今の時点ではわかりませんが、花の盛りがお彼岸と重なり、お寺近辺の道が、大勢の人であふれる可能性があります。

お車にて、お墓参りにお出でするとき、人出の中を、お寺まで入ってきていただくことになるかも知れません。どうかお気を付けてお越しください。



↑ ホームページ



↑ お寺の日常

東運寺ホームページは→

京都 東運寺 検索